

*** 東京天文台創設75周年記念前進座公演のチラシ発見**

アーカイブ室新聞第440号(2011年3月24日)「東京天文台百年史 資料の一部を収蔵-その2-」という記事を書いた。その中に「東京天文台創設75周年記念前進座公演パンフレット」があった。これが非常に興味深いので、これを取り上げて1号を発行したい。



写真1 チラシの表紙

昔の東京天文台ではこのような行事さえあったという記録のようなものに出会うチャンスを作りたいのである。東京天文台創設75周年は昭和28年(1953年)である。これは明

治 11 年（1878 年）9 月 3 日に東京大学理学部に観象台が置かれた年を起点にしている。

明治 15 年（1882 年）2 月には観象台が天象台と气象台に分離されている。東京天文台という名前が付いたのは明治 21 年（1888 年）6 月 1 日のことであり、東京大学天象台、海軍観象台、内務省地理局が統合され海軍観象台の地（麻布区飯倉）に置かれた時である。

東京天文台創立 75 周年記念式典が行われたのは、昭和 28 年（1953 年）10 月 29 日であり、それ以来東京天文台の記念日は毎年 10 月 29 日とされ、いろいろなイベントがあった。

そして今回発見したパンフレットといえるほどのものではなく、まあ、チラシのようなものだが、その翌日の 1953 年 10 月 30 日の東京天文台創設 75 周年記念の前進座の公演のチラシ（写真 1）である。

チラシの表紙には、東京天文台創設 75 周年記念 前進座 公演 1953 年 10 月 30 日（金）東京天文台クラブ主催と書かれている。

公演は二つあり、1. 谷間の駅長さん（写真 2）、2. 舞踊劇 勢獅子（山王祭礼の場）（写真 3）となっている。



写真 2 出し物「谷間の駅長さん」のページ

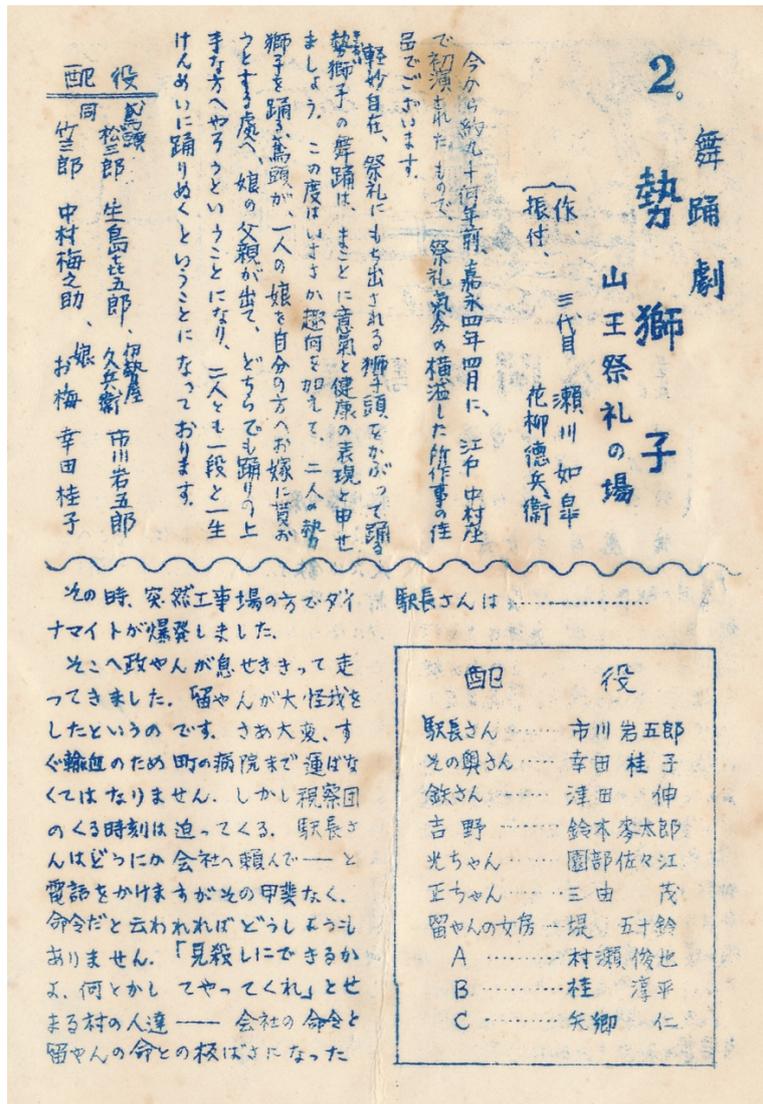


写真3 出し物「勢獅子」のページ

もう長いこと、国立天文台ではこのような催し物がないが、筆者の知る東京天文台では東京天文台クラブという 100%の職員が参加した親睦団体があり、このような行事のときには中心になって主宰していた。古き良き時代とでもいうのだろうか。

国立天文台と名を変えた古い東京天文台の歴史の一端である。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp